

検 定 意 見 書

24 枚中 1 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 ①	左上囲み	作業を安全に楽しく進めよう！……4 [4ページ1行] 作業を楽しく安全に進めよう！	表記が不統一である。	3-(4)				
2	8	上段左	高さ32.45mの法隆寺の木造の五重塔	生徒にとって理解し難い表現である。 (高さが断定的に過ぎる。)	3-(3)				
3	8	中段左	約1万年前から、牛馬などを使って農耕が行われていた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (約1万年前から、牛馬を使っていたと誤解する。)	3-(3)				
4	8	中段右	品種	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
5	8	中段右	収穫量が安定。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (収穫量が増加していないと誤解する。)	3-(3)				
6	9	左下写真	スマートフォンの画面	特定のサービスの宣伝になるおそれがある。 (アイコン)	2-(7)				
7	10	下段右	VR (…) やAR (…) の技術により、… 、医学のシミュレーション、…などが進化している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「医学のシミュレーション」)	3-(3)				
8	10	中段右	IoT□	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
9	14	下段右 囲み	▲空気を増幅させる技術 [139ページ] [中段] [空気清浄ファン]	生徒にとって理解し難い表現である。 (「空気を増幅させる」とはどのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
			空気を増幅させる技術						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 2 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	15	下段左	機能の品質を上げる。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
11	25	図6	繊維方向による変形が少ない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「繊維方向による変形」とは何か理解し難い。)	3-(3)				
12	26	10 - 12	金属は、熔融した状態で別の種類の金属などと混ぜ合わせて合金にすると組織が変わり、性質も変わります(図4)。 [27ページ図4]	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (利用例だけでは理解し難い。)	3-(3)				
			(全体)						
13	34	脚注	[技術の工夫] 東京スカイツリーに生かされた伝統の技術 心柱はおもりの役割をし、建物の内部と外部の揺れの速度に違いを作ること	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)				
			により地震の揺れを吸収します。						
14	40	図1	●全体の形や大きさを決める 収納したい物が全て入るような形、大きさにする。 ●使いやすさ、デザインを工夫する 収納する物やのせる物の数を基に、	生徒にとって理解し難い表現である。 (いつの段階で「全体の形や大きさを決める」のか理解し難い。)	3-(3)				
			全体の形や大きさを決める。						
15	42	下段左 囲み	[製品のカタログにある図面例] 平面図	不正確である。 (正面図・側面図と比較して)	3-(1)				
16	44	図1	実線の円・破線の円	生徒にとって理解し難い図である。 (当該の物の外形が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
17	46	図2	「⑥」の引出線	不正確である。 (引出線の●の位置)	3-(1)				
18	51	上段写真	(全体) [59ページ上段中写真] (全体)	実習における作業の安全について適切な配慮がされていない。 (右手の位置)	固有 1-(2)				
19	53	中段右	[寸法をとって線を引く プラスチック] 穴や円の中心をけがく場合は、センタポンチの先を、穴や円の中心に合わせ、ハンマで軽くたたく。	相互に矛盾している。	3-(1)				
			[60ページ上段右囲み] ●木材やプラスチックの場合は、きりで小さな穴を中心にあける。 ●金属の場合は、センタポンチを確実に打つ。						
20	53	下段右囲み	折り曲げ加工をする材料は厚さ (t) を考慮して長さ (L) を決める。 図 (全体)	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (左図tと右図tとの関係が理解し難い。)	3-(3)				
21	54	中段中図	「ひき溝の幅」の寸法線の黒三角 (2箇所)	誤りである。 (黒三角の位置)	3-(1)				
22	55	中段右図	「割れた面」の引出線	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「割れた面」がどこか誤解する。)	3-(3)				
23	57	中段右	[●弓のこによる切断順序 角材] (図全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (何番目に切るかわからない区画がある。)	3-(3)				
24	63	上段	金属やプラスチックは木ねじ、接着剤などを用いて接合します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (金属やプラスチックを接合する際はほとんど木ねじ・接着剤を使用すると誤解する。)	3-(3)				
25	64	上段左図	図中の皿木ねじ	不正確である。 (「板厚tの約2.5倍」寸法線・寸法補助線との関係)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 4 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
26	64	上段左	丸木ねじは、上板が薄い場合や…	生徒にとって理解し難い表現である。 (上板について説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
27	64	上段右	ねじの溝がつぶれないように回す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ねじの溝」)	3-(3)				
28	68	中段中	側板Bは両面を接合するので、直角になるように注意する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「両面」がどこか理解し難い、どこどことが「直角」になるのか理解し難い。)	3-(3)				
29	70	左下囲み	[構想図] ②とその引出線	誤りである。 (部品表、材料取り図における「②」を指し示していない。)	3-(1)				
30	72	左下囲み	[構想図] ①とその引出線 ②とその引出線	誤りである。 (部品表、材料取り図における「①」「②」の部品を指し示していない。)	3-(1)				
31	72	左下囲み	[構想図] 60 (数値・寸法線・寸法補助線)	誤りである。 (部品表、材料取り図における各部品の寸法からみて)	3-(1)				
32	73	中段	中央の仕切り板と底板の… 支え板、…、仕切り板から組み立て、 最後に底板を接合する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (部品表等に「仕切り板」「底板」「支え板」が記載されていない。)	3-(3)				
33	73	左下囲み	[構想図] ①とその引出線 ②とその引出線 [材料取り図] ② (2箇所)	相互に矛盾している。 (構想図・材料取り図と部品表・中段文章)	3-(1)				
			① (2箇所) [上段右 部品表] ① 前後板 12×210×380 ② 側板 12×210×214 [中段]						
			側板の切り欠きを入れる方向に気を付ける。 側板の持ち運ぶための穴はφ25のドリルであける。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
34	73	左下囲み	φ8 φ25 [45ページ図3] 6キリ…	表記が不統一である。	3-(4)	
35	74	左下囲み	6×1.9キリ深さ13 [45ページ図3] 6キリ↓10 (↓:穴深さ記号)	表記が不統一である。	3-(4)	
36	74	左下囲み	部品図④	生徒にとって理解し難い図である。 (「4×3キリ」の位置が示されていない。)	3-(3)	
37	75	左下囲み	「160/145/170」右端部の寸法補助線 「170/145/160」左端部の寸法補助線	不正確である。 (どこから「170」か)	3-(1)	
38	78	脚注	[技術の工夫] 与えられ条件のなかで,	脱字である。	3-(2)	
39	82	図3	炭素繊維と樹脂が混じり合った強化プラスチック [技術の工夫] 繊維強化プラスチック	表記が不統一である。	3-(4)	
40	88	下段左	露地栽培	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
41	89	上段右	完全養殖	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
42	89	下段左	長い年月をかけて	不正確である。	3-(1)	
43	93	上段中	かん水	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
44	93	上段右	マルチ [110ページ下段 技術の工夫] マルチング	表記が不統一である。	3-(4)	
45	93	下段左	光 (日照時間) [118ページ脚注 技術の工夫]日照時間	誤りである。 (日照時間)	3-(1)	
46	94	中段右	第1花房	生徒にとって理解し難い表現である。 (「第1」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
47	94	下段	9月育苗 3-7月収穫	生徒にとって理解し難い表現である。 ([94ページ中段]「ミニトマトの生育経過」の120 (日) 収穫開始」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
48	95	中段右	花がら摘み	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
49	95	中段右	[活動]肥料による成長の違いを比較しよう (ベビーリーフの育成) 右図 (全体)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (養分過剰で収量が最大値となり、また、品質が0となると誤解する。)	3-(3)	
50	98	上段	[図1]2016年 図の養殖と天然の生産割合	不正確である。 (2016年、養殖と天然の生産割合)	3-(1)	
51	98	脚注	[技術の工夫] 養殖魚の餌にかんきつ類などの果物を混ぜると、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人の食用となる果物を混ぜると誤解する。)	3-(3)	
52	100	中段中	(システム化された畜舎) の写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (どこがシステム化された畜舎かが理解し難い。)	3-(3)	
53	101	上段左	ナノサイズ	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 7 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
54	101	中段左	減農薬による栽培	生徒にとって理解し難い表現である。 (「減農薬による栽培」は理解し難い。)	3-(3)				
55	103	中段左	フィッシュボーンによる構造化	生徒にとって理解し難い表現である。 (フィッシュボーンの説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)				
56	104	中段左	ダイヤモンドランキング	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
57	104	脚注	[技術の工夫]特別栽培農作物	誤記である。	3-(2)				
58	105	中段中	[かん水]劣化	誤記である。	3-(2)				
59	105	下段中	[人工授粉]支柱をたたいたり、花房をゆすったりして、受粉をしやすくする。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人工授粉は受粉をしやすくするものと誤解する。)	3-(3)				
60	106	上段左	エダマメ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (作物名と誤解する。)	3-(3)				
61	106	中段	[スイカ 凡例]種	生徒にとって理解し難い表現である。 (栽培カレンダーとの関係が理解し難い。)	3-(3)				
62	108	上段左	スイートコーン	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (作物名と誤解する。)	3-(3)				
63	108	中段	[ニホンサクラソウ 凡例]種	生徒にとって理解し難い表現である。 (栽培カレンダーとの関係が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
64	112	中段左	土の粒子と有機物が結合して小さな塊になっている団粒構造	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有機物だけが団粒構造をつくると誤解する。)	3-(3)	
65	112	脚注	[技術の工夫]灰	生徒にとって理解し難い表現である。 ([112ページ下段右]「堆肥や石灰、腐葉土などを3割程度加える。」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
66	112	脚注	[技術の工夫]樹木の葉や枝が分解された土状のものを腐葉土といい、養分が多く含まれています。	生徒にとって理解し難いと表現である。 ([下段左]腐葉土の説明と異なり理解し難い。)	3-(3)	
67	113	上段右	動植物や動物の排せつ物などを発酵させて原料とした肥料	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発酵させて原料とした肥料」が理解し難い。)	3-(3)	
68	113	上段右	肥料 (写真は油かすが原料)。 [写真の説明]油かす	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)	
69	113	中段右	化成肥料	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
70	113	下段右	同じ科の作物を続けて栽培せず、違う科の作物を間に栽培 (輪作) する	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (輪作について誤解する。)	3-(3)	
71	113	下段	[技術の工夫]土の成分を調整するときに使われます。…表面に小さな穴が無数にあるため、保水性や通気性が高く、土に混ぜると排水性や保湿性を高めます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (土の成分に保水性・通気性・排水性・保湿性があると誤解する。)	3-(3)	
72	115	中段中	根鉢	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
73	115	中段中	[支柱立て・誘引]カラータイ [下段右]ビニルタイ	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
74	115	脚注	[技術の工夫]接ぎ木をした木は、台木の性質を受け継ぐため、特定の病気や連作に強い品種や植物を台木として用いることで、病気や連作障害を防ぐことができます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (台木の性質だけを受け継ぐと誤解する。)	3-(3)				
75	118	上段右	一番果は早めに収穫する。 [中段中]一番果を摘果する。 [下段中]一番果の摘果 [下段中]一番果は小さいうちに摘果する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)				
76	118	中段右	[4 収穫]品種により異なるが、10cm前後(開花後約20~25日)で収穫する。 [ポイント]がくと実の境目が白くなってきたら収穫する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (10cm前後(開花後約20~25日)で必ずがくと実の境目が白くなってくると誤解する。)	3-(3)				
77	119	中段右	土寄せ	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
78	121	脚注	[技術の工夫]東南アジアなどで栽培されている細長い形のインディカ種	生徒にとって理解し難い表現である。 (何が細長い形かが理解し難い。)	3-(3)				
79	122	中段中	株の周りに肥料をまいて土と混ぜる(中耕)。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中耕を誤解する。)	3-(3)				
80	123	中段中	培養液	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
81	124	上段中	[パンジー 原産地]ヨーロッパ	生徒にとって理解し難い表現である。 ([下段中 技術の匠]「パンジーは人間が作りだした園芸植物で、約200年の歴史があります。」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
82	125	上段中	[イチゴ 原産地]オランダ	誤りである。 (オランダ)	3-(1)				
83	125	中段左	ランナーの反対側から花房が出る。	生徒にとって理解し難い表現である。 (子株の両側にランナーがあるため理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 10 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
84	125	下段中	[栽培メモ 新芽の発生の図]ランナー	生徒が誤解するおそれのある図である。 (親株から遠いところのものだけをランナーという と誤解する。)	3-(3)				
85	126	脚注	[技術の工夫]日本では、安全な配合飼料を使ってニワトリを育てているうえ、出荷前には卵の殻を洗浄・消毒するなど、感染症を防ぐ対策が行われているため、新鮮な卵は生で食べることが	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本では、対策が行われる前には新鮮な卵は生で 食べていなかったと誤解する。)	3-(3)				
			できます。						
86	127	下段中	カルキ抜き	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
87	127	上段右	[ポイント]魚の観察のポイント 餌の管理 水質、水量、水温 給水、排水、エアレーションの状況 など	生徒にとって理解し難い表現である。 (魚の観察としては理解し難い。)	3-(3)				
88	131	中段右	[図4]1億8890万ha	誤りである。 (1億8890万ha)	3-(1)				
89	131	下段左	遺伝子組み換えトウモロコシを食べた虫は、新たにつくられたタンパク質を消化できずに死んでしまう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての虫がタンパク質を消化できずに死ぬと誤解 する。)	3-(3)				
90	132	3 - 4	生産者は、品種改良や気象条件の不適合を補う技術などを選択し	生徒にとって理解し難い表現である。 (「品種改良を選択」が理解し難い。)	3-(3)				
91	132	中段左	ICT	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
92	132	脚注	[技術の工夫]マメ科植物は空気中の窒素を土壌に固定するため、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (マメ科植物が直接、空気中の窒素を土壌に固定し ていると誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
93	133	上段左	野菜, 米, 果樹, 花などの生産者がGAPの導入により, 定められた規則で肥料や農薬の使用などの農業生産工程の記録, 点検及び評価が行われています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (主語と述語の関係)	3-(3)				
94	139	下段囲み	[小惑星探査機はやぶさ2] [2~3行] 小惑星の表面に弾丸を撃って, その破片を吸い取る装置がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「吸い取る」は, 装置について誤解する。)	3-(3)				
95	141	図2	[横軸の表記] LNG複合 火力蒸気	生徒にとって理解し難い表現である。 (「LNG複合」、「火力蒸気」は理解し難い。)	3-(3)				
96	141	図3	[図の右側] LEDライトの機器効率25% 光エネルギー約10% エネルギー損失75%	生徒にとって理解し難い図である。 (「LEDライトの機器効率」、「光エネルギー」、「エネルギー損失」の関係について理解し難い。)	3-(3)				
97	142	上段左	[やってみよう 実験] モータ 直流モータ 風力発電教材用モータ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「モータ」を発電機の呼称のように誤解する。)	3-(3)				
98	142	上段左	[やってみよう 実験] [左下] 写真の右横の3つのペットボトルの図	生徒にとって理解し難い図である。 (この図が何を意味しているのか理解し難い。)	3-(3)				
99	142	3 - 4	磁石を動かすことで電流が流れる現象を電磁誘導といい, この仕組みは, 発電機のほか,	生徒にとって理解し難い表現である。 (図2ではコイルを動かしており, 「磁石を動かすことで電流が流れる」と異なるため理解し難い。)	3-(3)				
100	142	図1	[電磁調理器] (図全体)	不正確である。	3-(1)				
101	142	図2	(図全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (発電機の仕組み, モータの仕組みとして, 構造や電磁力など理解し難い。)	3-(3)				
102	142	脚注	[技術の工夫] 使い過ぎて枯渇する心配もありません。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (水素を燃料として用いることについて誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 12 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
103	143	8 - 9	再生可能エネルギー	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており、理解し難い。)	3-(3)
104	143	図4	[グラフ 縦軸] 発電量 [囲み 技術の天びん] 各発電方法の発電量の割合を	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発電量」は理解し難い。)	3-(3)
105	143	図4	[出典] 資源エネルギー庁「エネルギー基本計画」より作成	不正確である。	3-(1)
106	144 - 145	図2	[水力発電] (図全体)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (水車に水が通っていないように見える、発電機の軸が横向きに見える、変圧器が発電機の上にあるように見えるなど、水力発電の設備について誤解する。)	3-(3)
107	144 - 145	図2	火力発電(石炭)、火力発電(石油)、火力発電(天然ガス)、原子力発電、バイオマス発電のタービン	生徒が誤解するおそれのある図である。 (タービンから水が出ているように見えるため、タービンの動作について誤解する。)	3-(3)
108	144 - 145	図2	[火力発電(石油)] ○エネルギー変換効率が低い。	生徒にとって理解し難い表現である。 (火力発電(石炭)、火力発電(天然ガス)、水力発電と比べて、高いとは言えないため理解し難い。)	3-(3)
109	144 - 145	図2	[火力発電(天然ガス)] エネルギー変換効率 55%	不正確である。 (141ページ図2と異なっている。)	3-(1)
110	144 - 145	図2	[火力発電(天然ガス)] CO2排出量 474g-CO2/kWh	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
111	144 - 145	図2	[原子力発電] 図の「燃料」の指示線	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「燃料」の位置について誤解する。)	3-(3)
112	144 - 145	図2	[バイオマス発電] (図全体)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (家畜糞尿、生ごみ、廃油などがガスとしてタービンに吹き付けられているように見える、廃油がガス化されているように見える、ガスと蒸気が混合されてタービンに吹き付けられているように見えるなど)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 13 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
				、バイオマス発電の燃料や設備について誤解する。)					
113	144 - 145	図2	[バイオマス発電] CO2排出量 不明	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典において「不明」としているように誤解する。)	3-(3)				
114	144 - 145	図2	[バイオマス発電] △エネルギー密度が低く、コストは高い。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「エネルギー密度が低く」は説明が不足しているため、また、「コストは高い」は太陽光発電、火力発電(石油)のコストと比べて高いとは言えないため理解し難い。)	3-(3)				
115	144 - 145	図2	[再生可能エネルギーその他の発電方法] 水素エネルギー／燃料電池 (全体)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「水素エネルギー／燃料電池」は再生可能エネルギーではないため、誤解する。)	3-(3)				
116	144 - 145	図2	[再生可能エネルギーその他の発電方法] [水素エネルギー／燃料電池] ○CO2を排出しない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ライフサイクルにおいてCO2を排出しないように誤解する。)	3-(3)				
117	146	図1	[一次電池] リチウム電池の写真	不正確である。 (リチウム電池の写真ではない。)	3-(1)				
118	147	図4	[タイトル] 直流、交流の電流値の変化	生徒にとって理解し難い表現である。 (図の内容に照らして理解し難い。)	3-(3)				
119	147	図4	[説明文 2~3行] 1秒間に変化する回数を周波数とよび [側注 ★1] 50Hzは、1秒間に50回、電流の向きが	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (周波数について誤解する。)	3-(3)				
			入れ替わっている。						
120	148	2	電源、導線、負荷で構成される回路が	表記が不統一である。 (「回路」は、148ページの節のタイトルの「電気回路」、148ページの6~7行の「電気回路」などと、表記が不統一)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
121	148	脚注	[技術の工夫] 電気を流すと光る性質を持つ半導体をLED (発光ダイオード) といいます。	不正確である。	3-(1)	
122	148	脚注	[技術の工夫] LEDは、基本的に赤、緑、青の3色しかありませんが	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (LEDの素子の色について誤解する。)	3-(3)	
123	149		[資料] [左下] 電力量 [J] 一定時間電流が流れたときの電気エネルギーの総量のこと。 電力量 [J] = 電力 [W] × 時間 [s]	生徒にとって理解し難い表現である。 (「一定時間電流が流れたとき」は理解し難い。)	3-(3)	
124	149	図2	スイッチの下側の図記号	表記の基準によっていない。 (JISと異なっている。)	3-(4)	
125	150	中段	[活動] 非常停止ボタンのモデルの回路図	不正確である。 (ブザーの接続)	3-(1)	
126	151	上段左	直流電流の測定の写真の③ 直流電圧の測定の写真の③	生徒にとって理解し難い表現である。 (「③」は何を示しているのか理解し難い。)	3-(3)	
127	152	図1	[図で使用している表記] ブレーカ 遮断器	表記が不統一である。	3-(4)	
128	152	図1	[右下] 配線用遮断器 負荷に過電流が流れたときに作動するブレーカ。	不正確である。 (「負荷に過電流が流れたときに作動する」)	3-(1)	
129	153	図2	アース線を接地しないで使用 アース線を接地して使用 [右下 文]	生徒にとって理解し難い表現である。 (「接地」は理解し難い。)	3-(3)	
			機器のアース線が接地してある場合			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 15 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
130	153	側注★ 4	銅板	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アース極は、銅板以外にはないように誤解する。)	3-(3)				
131	153	図3	トラッキング現象によるコンセントの焼損の写真	不正確である。 (2つの写真はトラッキング現象によるものではない。)	3-(1)				
132	153	図4	コードが発熱している様子 (全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (説明がなく、理解し難い。)	3-(3)				
133	154	図5	[左の表記] 認定検査機関	不正確である。	3-(1)				
134	154	図7	[ヒューズ] [5行] 加熱	誤記である。	3-(2)				
135	154	図8	たこ足配線の例	生徒にとって理解し難い表現である。 (「たこ足配線」について説明がないため理解し難い。)	3-(3)				
136	155	上段左 囲み	[技術の匠] [左段 20行] 取扱説明書 [右段 18行]	表記が不統一である。	3-(4)				
			取扱説明書 [上段右] [資料] 取り扱い説明書						
			[167ページ 図2 自転車の場合] [上の文] 取り扱い説明書						
			[下の文] 取り扱い説明書						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 16 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
137	155	上段左 囲み	[技術の匠] [右段 12~13行] 接続に使われている部品	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
138	155	下段左	[資料] [日頃からの備え] [1行] 電気製品	表記が不統一である。	3-(4)				
			[2行] 電気機器						
139	160	側注★ 1	速度伝達比=駆動軸側の回転速度/被 動軸側の回転速度 =被動軸側の歯数/駆動軸側の歯数	生徒にとって理解し難い表現である。 (「駆動軸側の回転速度」、「被動軸側の回転速度」の「側」、また、「被動軸側の歯数」、「駆動軸側の歯数」は何の歯数か理解し難い。)	3-(3)				
140	160	図1	図1 速度伝達比と回転力の関係 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「速度伝達比と回転力の関係」について触れられていないため理解し難い。)	3-(3)				
141	163	脚注	[技術の工夫] ピストンが上下に往復運動をします。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての蒸気機関車で、ピストンが上下に往復運動をするように誤解する。)	3-(3)				
142	164	中段左	[発展] パスカルの原理 (全体)	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)				
143	164	中段左	[発展] [1行] 面積 [下図]	表記が不統一である。	3-(4)				
			断面積						
144	164	中段左	[発展] [2行] 重量	生徒にとって理解し難い表現である。 (「重量」は理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 17 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
145	164	中段左	[発展] [下図] 力 $F_1=10_N$ 力 $F_2=20_N$	誤記である。 (単位のNが下付き)	3-(2)				
146	164	中段左	[発展] [下図] [左側のピストン] 断面積 A_1 100mm^2	誤記である。 (「 A_1 」)	3-(2)				
			[右側のピストン] 断面積 A_1 200mm^2						
147	165	8 - 9	蒸気タービンは、現在でも発電機や船舶などで利用されています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発電機」は理解し難い。)	3-(3)				
148	165	図5	蒸気タービンと発電機 (図全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (「プロペラ」、「コイル」が何を示しているのか、「回ると発電する」とはどのようなことか、「基本的な仕組み」との関連、「蒸気タービン」と「発電機」の関係など理解し難い。)	3-(3)				
149	165	下段	[観察] ヘロンの蒸気機関で缶を回そう (全体)	実験や観察における作業の安全について適切な配慮がされていない。 (実際に装置を製作し、実験や観察を行うような場合、火傷や装置の破裂などの危険が考えられるため、安全についての適切な配慮が必要である。)	固有 1-(2)				
150	166	12	軸を滑らかに支える	生徒にとって理解し難い表現である。 (「滑らかに支える」とはどのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
151	166	図1	[転がり軸受(玉軸受)] 「内輪」の指示位置	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「内輪」について誤解する。)	3-(3)				
152	166	図1	[滑り軸受(平軸受)] 「軸受メタル」の指示位置	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「軸受メタル」について誤解する。)	3-(3)				
153	167	下段右 囲み	[ポイント] ●ブレーキと部品の接触部分は注油しない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「部品」とは何か理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 18 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
154	174	中段右	[ダイオード] 整流	生徒にとって理解し難い表現である。 (「整流」は説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)				
155	174	脚注	[技術の工夫] 光が当たっているかどうかを検知することができます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「光が当たっているかどうか」は、CdSセンサの利用について誤解する。)	3-(3)				
156	175	上段左	[電池] 容量	生徒にとって理解し難い表現である。 (「容量」について説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)				
157	175	脚注	[技術の工夫] 2種類の半導体を交互に3層重ねた構造	生徒にとって理解し難い表現である。 (トランジスタの構造について理解し難い。)	3-(3)				
158	175	上段中	手回し発電 [中段左] [手回し発電モジュール] 手回し発電機	表記が不統一である。	3-(4)				
159	175	側注★ 1	まとまりのある機能を持つ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「まとまりのある機能」とは何か理解し難い。)	3-(3)				
160	175	下段左	[充電モジュール] コンデンサの規格に合わせて電圧が入力されるようにする。	生徒にとって理解し難い表現である。 (充電式電池についての説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
161	176	中段	[はんだづけの手順 ③] 写真の「配線済みの基板」の指示位置	不正確である。	3-(1)				
162	176	中段	[はんだづけの手順 ③ 文] 心線 [はんだづけの手順 ⑥ 文] 心線	生徒にとって理解し難い表現である。 (「心線」は理解し難い。)	3-(3)				
163	177	中段右	[2 製作, 実装, 点検・調整] 部品を基板に配置し, はんだづけをする。筐体に取り付け, 点検・調整を行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真に基板は確認できない, また, 抵抗器が空中で配線されており絶縁上危険なため理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 19 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			および 写真 (全体)						
164	177	脚注	[技術の工夫] 電圧に対して回転が安定しています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
165	179	左上	[電源] [杏奈] 乾電池と充電池の [ギカルン]	表記が不統一である。 (「充電池」は、178ページの「電源」の囲みの「充電式の乾電池」と表記が不統一)	3-(4)				
			充電池は電圧が						
166	179	中段右	[2 製作, 実装, 点検・調整] 部品を基板に配置し, はんだづけをする。筐体に取り付け, 点検・調整を行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真では基板は確認できないため理解し難い。)	3-(3)				
			および 写真 (全体)						
167	179	中段	[回路実験] 赤外線センサモジュール	表記が不統一である。 (「回路図の例」などの「人感センサモジュール」と表記が不統一)	3-(4)				
168	180	2	往復運動 [162ページ 3行] 往復直線運動	表記が不統一である。	3-(4)				
169	182	上段右	動きを伝える仕組み [183ページの上段] 動きを伝える仕組み	表記が不統一である。 (180ページの図1の「運動を伝える仕組み」と表記が不統一)	3-(4)				
170	188	4	実現できたかどうかだけでなく	脱字である。 (「だけでなく」)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 20 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
171	188	脚注	[技術の工夫] リチウムイオン蓄電池 [193ページ 図4 右段] リチウムイオン二次電池	表記が不統一である。 (146ページの図1の「リチウムイオン電池」と表記が不統一)	3-(4)				
172	190	4	物質の流れ	生徒にとって理解し難い表現である。 (「物質の流れ」は理解し難い。)	3-(3)				
173	191	下段右	[資料 パリ協定] [3行] 2016年11月発行	誤記である。 (「発行」)	3-(2)				
174	192	図2	[縦軸の単位] kwh/年	誤記である。 (「kwh」)	3-(2)				
175	193	図4	[左段上] [ヒートポンプ] 空気中などの熱を利用し、膨張・圧縮させ、少ない熱を増幅させて外部に吐き出すことで	生徒にとって理解し難い表現である。 (ヒートポンプの説明として理解し難い。)	3-(3)				
176	193	図4	[左段下] 排気熱利用技術 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「工業炉」など、説明が不足しているため理解し難い。)	3-(3)				
177	193	図4	[右段下] 超電導フライホイール蓄電システム (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (超電導コイルにエネルギーを貯蔵すると誤解する。)	3-(3)				
178	198	下囲み	デジタルサイネージ (電子看板) 型 自動販売機 acure	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
179	202	図1	2進数を電気信号として扱い、	誤りである。 (「2進数を電気信号として」)	3-(1)				
180	204	図1	情報通信ネットワークの図 (全体)	不正確である。 (家庭、インターネット、ISPの関係)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 21 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
181	205	図2	[左下囲み] 情報機器どうしが直接通信するのではなく、サーバを経由するんだね。	生徒が誤解するおそれのある図である。 (情報通信ネットワーク上のすべてのやりとりがサーバを経由すると誤解する。)	3-(3)				
182	211	下囲み	[活動] ホワイトボード 事例6 情報発信 [209ページ図6] 【事例6】ゲームをしたり、必要なく	相互に矛盾している。	3-(1)				
			なったものなどを売買したりすることができる。						
183	216	図1	暖かいの同義語 厚い, 温い [217ページ 図2] ④左図 暖かいの同義語 厚い, 温い	不正確である。 (厚い, 温い)	3-(1)				
184	217	図2	[信号機] ③と④の間の下向き三角	生徒が誤解するおそれのある図である。 (①から④の処理が順次行われるものと誤解する。)	3-(3)				
185	218	下図	[信号機のモデル] 赤信号から青信号に変わるプログラム 青信号が点滅をするプログラム	不正確である。 (「○秒間消灯」処理の有無)	3-(1)				
186	222	脚注	[技術の工夫] 1991年, …「ハイパーテキスト」を開発し, WWW(World Wide Web)の元を作りました。	不正確である。 (「1991年」「開発」「元を作り」)	3-(1)				
187	223	図2	使用する人や, 使用する人によって機能を制限する。	誤記である。 (「使用する人」が重複)	3-(2)				
188	232	右中図	スタディーノにセンサーの値を記録する スタディーノから値を取り出す	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
189	236	図1	明るさが50になったら点灯 プログラム例 もし 明るさ < 50 なら LED画面に表示 (2箇所)	相互に矛盾している。 (50になったら)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 22 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
190	241	図1	自動車の自動運転の例 フローチャート 始め 歩行者の信号システムの例 フローチャート 開始	表記が不統一である。	3-(4)				
191	241	図1	[フローチャート (2箇所)] 「処理」の記号が角丸四角 [219ページ フローチャート] 「処理」の記号が長方形	表記が不統一である。	3-(4)				
192	241	図1	信号システムのフローチャート 「ボタンが押されたか」いいえの先 [243ページ 図2左] 分岐 SW=ON? NOの場合の戻り先	誤りである。 (一度暗い場合の処理に入ると、自動的に抜け出せない。)	3-(1)				
193	244	図1	分岐 SW=ON?	生徒にとって理解し難い図である。 (スイッチをどう使うか説明が無いままプログラムに出現)	3-(3)				
194	244	脚注	[技術の工夫] 回転灯で知らせり、	脱字である。	3-(2)				
195	245	図1	004: GOTO 001 4行目: 1行目へ	誤りである。 (暗いとき点滅してしまう。)	3-(1)				
196	246	図1	[プログラム内] センサ1 はい いいえ (3箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (何が起きるとセンサ1が「はい」になるか説明がない。)	3-(3)				
197	246	右下囲み	周光センサ 光センサを加えて、	表記が不統一である。	3-(4)				
198	248	右中囲み	乗降装置が乗降する角度を調整	誤記である。 (乗降する角度)	3-(2)				
199	266	上囲み	雨の日に傘を忘れてにぬれながら	誤記である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

24 枚中 23 枚目

受理番号 31-98		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
200	266	中囲み	地震の揺れの精度よく、感知するために、	誤記である。	3-(2)				
201	266	中囲み	テープLED [267ページ 中央] テープLED [245ページ 4箇所] LEDテープライト	表記が不統一である。	3-(4)				
202	266	下囲み	基板の写真 裏 micro:bit [別冊8 右上] 基板の写真 裏 micro:bit	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
203	267	上囲み	製作例 ペットボトルの写真	生徒にとって理解し難い表現である。 (ペットボトルの色)	3-(3)				
204	268	下段中	土の乾燥状況に応じて、自動的にかん水ができるようにしたい。 湿度センサには、くぎを使ったよ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (土の乾燥状況を調べるのに湿度センサを使うことが理解し難い。)	3-(3)				
205	287	左段	[38～39行] [エネルギー変換効率の文] 元となるエネルギーとの比。	表記が不統一である。 (141ページの5～6行の「供給されるエネルギーとの比」と表記が不統一)	3-(4)				
206	287	中段	[21行] 回路>p. 148	表記が不統一である。 (「回路」は、中段の16行や中段の18行の「電気回路」と表記が不統一)	3-(4)				
207	288	6中	適性に活動するための	誤記である。	3-(2)				
208	別冊3	左中囲み	着地するときにバナナに当たると、ネコが小さくなります。	不正確である。 (着地するときに)	3-(1)				
209	別冊7	右上囲み	Scriptタグは、Scratchのスプライト、ドリトルのオブジェクトと同じだよ。	誤りである。 (同じではない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	9	脚注	[豆知識] 人の力に対して2輪の自転車は2倍、業務用リヤカーつき3輪の自転車は3倍までと定められている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (条件によって変わるため、アシストできる力について、誤解する。)	3-(3)				
2	9	左上囲み	2007年では24万7千台	不正確である。 (「24万7千台」)	3-(1)				
3	11	中段左囲み	[はやぶさ2 (イメージ図)] [7行] 着陸が成功した。 [写真キャプション]	表記が不統一である。 (「着陸」と「タッチダウン」)	3-(4)				
			タッチダウン直後にタッチダウン地点付近を撮影した画像						
4	11	右段上	●500頃 鋼の製造 [21ページ右段上] ●500頃 鉄の製造	表記が不統一である。	3-(4)				
5	11	右段中	◆1948 トランジスタラジオの発明 [141ページ右段中] ◆1948 トランジスタの発明	表記が不統一である。	3-(4)				
6	13	2図	植物工場では、人工光源を使って	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人工光源を使うものだけを植物工場という誤解する。)	3-(3)				
7	13	4図	完全養殖	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
8	17	17 - 18	人の手によって植えられ、育てられた森林 (人工林) [112ページ11~12行]木材生産などの目的で植栽され手入れをされながら育つ人工林	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人の手で育てられる、あるいは手入れをされながら育つのが人工林と誤解する。)	3-(3)				
9	17	17図	石炭 115.8	不正確である。 (「115.8」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	17	18図	金属精錬・回収 (金, 白金, パラジウムなど16種)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「16種」の金属が回収されると誤解する。)	3-(3)				
11	18	7 - 9	法隆寺の五重塔は, …。心柱により, 地震などの揺れをゆっくりと受けて耐えることができる。 この技術のしくみは, 現代の東京スカイツリーにも活用されている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)				
			[1表] 心柱を生かした制振構造 地震があると揺れることで倒壊を免れる柔構造である。						
12	18	1表	[法隆寺の五重塔] 高さ31.5メートル	生徒にとって理解し難い表現である。 (高さが断定的に過ぎる。)	3-(3)				
13	22	1図	材料と加工の製品	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
14	27	1表	材料を作る技術と材料と加工する技術	生徒にとって理解し難い表現である。 (「材料と」)	3-(3)				
15	35	6	金属の性質や強度や硬度	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (強度や硬度は金属の性質でないと誤解する。)	3-(3)				
16	35	6表	焼き入れ [中段右] 焼入れ (2箇所)	表記が不統一である。	3-(4)				
17	38	13図	強さ = (高さ) ² × 幅	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)				
18	39	脚注	[豆知識] 材料の接合部を方杖 (ほうづえ) や補強金具などで強固にし, 柱同士が動かないようにしたラーメン構造	生徒にとって理解し難い表現である。 (「柱同士」)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	50 - 51	中央図	(全体) [52ページ] 左下図 (全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (両方の図の違いについて理解し難い。)	3-(3)	
20	50	脚注	[豆知識] 材料の種類や形状、寸法、製図のきまり、ねじの規格などは、JIS (日本工業規格) によって、法律に基づいて制定された規格である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「…の規格などは、…によって、…された規格である。」)	3-(3)	
21	51	脚注	[豆知識] 市販されている材料の形状や材質は、JISで決められている。	不正確である。 (「JIS」)	3-(1)	
22	53	29図	試作による改善の例 段ボールによる試作 写真 じょうぶな構造にする 写真 もっと使いやすくする 写真 これなら問題が解決できるし、さまざま	生徒にとって理解し難い表現、写真である。 (試作による改善の例として理解し難い。)	3-(3)	
			まな視点からの効果も満たせそうだね。 写真			
23	58	36図	「339」の寸法補助線	不正確である。	3-(1)	
24	58	36図	「115」の下側の寸法補助線	生徒にとって理解し難い図である。 (どこを示しているのか理解し難い。)	3-(3)	
25	58	36図	[図下左] 240 (数値・寸法線・寸法補助線)	誤りである。 (54ページ14表：部品表における各 부품の寸法からみて)	3-(1)	
26	58	脚注	[豆知識] くぎを抜くとき、くぎの頭が低く出ている場合は、使い古しのニッパを使用すると楽に抜ける。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「使い古しのニッパ」)	3-(3)	
27	60	39図	(全体) 40図 (全体) 15表 (全体) その他、60～61ページ実習例3全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (「安全性を重視したふみ台」(60ページ上段)の構造として理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
28	60	39図	48 (数値・寸法線・寸法補助線)	生徒にとって理解し難い図である。 (どこの寸法であるか理解し難い。)	3-(3)				
29	60	39図	165/240 (数値・寸法線・寸法補助線) 135/210 (数値・寸法線・寸法補助線)	生徒にとって理解し難い図である。 (40図・15表と比較して)	3-(3)				
30	60	39図	等角図 (全体) 40図 (全体) 15表 (全体)	不正確である。 (図, 表の対応関係について)	3-(1)				
31	60	下段左	②まく板や③ぬきは, L材の④脚に接合することで, くぎの本数を減らすことができる。 [64ページ下段右] ②まく板Aと③まく板B, ⑤側板と⑥ま	生徒にとって理解し難い表現である。 (具体の理由について説明がない。)	3-(3)				
			く板Cは, L材の①支柱に接合することで, くぎの本数を減らすことができる。						
32	60	下段左	仕上げは, …ワックスやオイルを塗る。 [15表] 塗料 (キヌカ)	相互に矛盾している。	3-(1)				
33	60	15表	① 天板 … 15×30×300 7 ② まく板 … 15×45×185 4 ③ ぬき … 15×15×185 4	生徒にとって理解し難い表現である。 (39図・40図と比較して)	3-(3)				
34	60	15表	L材15×45×200 [61ページ41図] L材 (30×45×600)	表記が不統一である。	3-(4)				
35	60	15表	黄銅くぎ (25mm) [64ページ17表] 黄銅くぎ (25mm)	生徒にとって理解し難い表現である。 (78ページ98図「使用するくぎの長さは, …こばであれば…2.5倍程度にする。接着剤を併用するときには, 2倍程度でも十分な強さがある。」から考えて理解し難い。)	3-(3)				
36	60	15表	キヌカ	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 5 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
37	61	41図	① (全体) [65ページ47図] ②③ (全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (切りしろ・けずりしろ (69ページ) について理解し難い。)	3-(3)				
38	61	右下囲み	下の写真 (全体) 高さの低い台と組み合わせて、乗りやすくした例。	生徒にとって理解し難い表現, 写真である。 (なぜ「乗りやすく」なったのか理解し難い。)	3-(3)				
39	64	上段左	さまざま植物が, …	脱字である。	3-(2)				
40	64	45図	100 (数値・寸法線・寸法補助線)	生徒にとって理解し難い図である。 (どこの寸法であるか理解し難い。)	3-(3)				
41	64	45図	260 (数値・寸法線・寸法補助線)	不正確である。	3-(1)				
42	64	46図	(55)	不正確である。	3-(1)				
43	64	17表	塗料 (水性ワックス) [17表下] 仕上げは, …ワックスやオイルを塗る。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
44	66	上段	実習例6 機能性を重視したカレンダーつきメモホルダ [上段 課題の設定] カレンダー, メモ, 筆記用具がひとまとめにできるメモホルダを製作しよう	生徒にとって理解し難い表現である。 (「カレンダー」が含まれている製品の実習例であるが, 48図以降では「カレンダー」について一切記述がなく, 理解し難い。)	3-(3)				
			。						
45	66	48図	「110」右の寸法補助線	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
46	66	下段左	ジグ (⇒p. 79, 80) M4 (⇒p. 79)	不正確である。 (79・80ページに当該の記述がない。)	3-(1)	
47	66	18表	① 本体 … 2×140×130	誤りである。 (48図・49図と比較して)	3-(1)	
48	75	86図	[左中写真の右] 送りハンドルを下げるとドリルが下がる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (左上写真の下「送りハンドルを下げるとドリルが下がる。」との違いが理解し難い。)	3-(3)	
49	78	2 - 3	木工用接着剤 (酢酸ビニル樹脂系エマルジョン系) [55ページ11表 57ページ13表 など] 接着剤 (酢酸ビニル樹脂系) [87ページ24表]	生徒にとって理解し難い表現である。 (接着剤の種類と呼称として)	3-(3)	
			酢酸ビニル系 (2箇所)			
50	78	103 図	ねじ回しは、ねじ山から外れないように押しつけながら回す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ねじ山から外れないように」)	3-(3)	
51	79	10	紙やすり (109図) [13行] 面取りをする (110図)。	不正確である。 (109・110図に当該の記述がない。)	3-(1)	
52	83	脚注	[豆知識] ほとんどの加工によって、	脱字である。	3-(2)	
53	86	128 図	座金	生徒にとって理解し難い写真である。 (写真でどこが座金か理解し難い。)	3-(3)	
54	89	1 - 5	材料と加工の技術を用いた問題の解決では、…、材料の性質や組み合わせ方 (科学的な原理・法則) をよく考えたうえで、最適な材料の作り方や加工方法 (…) を選択します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「材料の作り方」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
55	92	下段	組立と仕上げを… [13ページ9図] 組立てを行う [77ページ11行] 仮組立て	表記が不統一である。	3-(4)				
			(以下略)						
56	93	中段囲み	技術士には、「技術士倫理綱領」が定められています。技術者はこの倫理要項を守って、	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
57	93	下囲み	耐久性の問題から、これまで木材が使われてこなかった高さ10m以上の建築物にも使用できます。	不正確である。	3-(1)				
58	95	上段右	●1893真珠の人口養殖	誤記である。	3-(2)				
59	95	中段右	◆1931不妊虫放飼法（外注防除法の一つ）の発明	誤記である。 （外注防除法）	3-(2)				
60	95	中段右	●1942シイタケの人口栽培技術	誤記である。	3-(2)				
61	95	中段右	◆1973遺伝子組み換え ◆1984世界初の遺伝子組み換え作物 [139ページ中段左]遺伝子組換え [139ページ中段 右1～2行]遺伝子を組み替える	表記が不統一である。	3-(4)				
62	96	下段左	たい肥 [117ページ24図]堆肥	表記が不統一である。	3-(4)				
63	97	2 - 3	身の回りにある生物由来の生産物は、人間の生み出した技術によって成り立っています。	生徒にとって理解し難い表現である。 （天然の生産物も多数存在する。）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
64	97	5 - 6	収量の安定性や、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (収量が増加しないと誤解する。)	3-(3)				
65	97	中段右	療法への利用 写真	生徒にとって理解し難い表現, 写真である。 (療法と写真が示すものについて説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
66	98	9 - 10	生物には、品種によって成長するしくみや生体の特性など、固有の特性(科学的な原理・法則)があります。	誤りである。 (「品種によって」)	3-(1)				
67	98	14	高い収量や品質を維持する能力	生徒にとって理解し難い表現である。 (「維持する能力」は理解し難い。)	3-(3)				
68	99	1表	[水産] 餌にみかんやチョコレートを混ぜる	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人の食用となるみかんやチョコレートを混ぜると誤解する。)	3-(3)				
69	99	1表	[林業] 花粉がほとんど飛散しない樹種を植樹する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (技術のしくみとして理解し難い。)	3-(3)				
70	100	8 - 10	京野菜のように古くから伝わる品種を地域の気候などに合わせて代々同じ方法で育てる作物(伝統野菜)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (伝統野菜について誤解する。)	3-(3)				
71	100	脚注	[豆知識] スヴァーバル諸島 スヴァーバル世界種子貯蔵庫	誤記である。	3-(2)				
72	100	脚注	[豆知識] 現在は世界各地から100万種以上の種子	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)				
73	101	上段参考	[品種改良] 目的に合わせて品種を選択し, 交配(掛け合わせ)させることです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (98ページの豆知識の説明と異なる。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
74	101	13	無農薬栽培 [13ページ上段左]無農薬 [121ページ上段右]無農薬 [138ページ上段左]無農薬栽培 [289ページ中段右]無農薬栽培	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
75	101	13	減農薬栽培 [121ページ上段右]減農薬 [138ページ上段中]減農薬栽培 [288ページ下段中]減農薬栽培	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
76	101	14 - 15	農薬は人体に影響が少ないよう法律で 厳しい基準が設けられていますが、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農薬は人体に影響が少しは出てもよいと誤解する。)	3-(3)				
77	101	中段右	*糖度とは、果物などに含まれている 糖分の量を表す。	不正確である。 (糖分)	3-(1)				
78	101	下段参 考	固形培地耕	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)				
79	101	下段参 考	養液栽培 (固形培地耕) の写真	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (固形培地耕を誤解する。)	3-(3)				
80	102	中段中	[トマト 発芽適温]20~30℃ [117ページ 24図 生育条件]発芽適 温:20~30℃ [121ページ トマトの基本情報]発芽適 温:28℃	相互の関連が適切でない。 (トマトの発芽適温が異なる。)	2-(12)				
81	102	中段中	[トマト 生育適温]昼25~30℃ 夜10~ 15℃ [117ページ 24図 生育条件]生育適 温:25℃ (日中) [121ページ トマトの基本情報]生育適	相互の関連が適切でない。 (トマトの生育適温が異なる。)	2-(12)				
			温: (昼) 25℃前後, (夜) 16℃前後						
82	103	下段左	ダイズ, エダマメ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (異なる作物種と誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
83	104	上段	[土づくり]土壌の改善や酸度調整をするため、耕運機などを用いて畑の土を耕す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (酸度調整が土を耕すだけでできると誤解する。)	3-(3)				
84	104	脚注	[豆知識]マルチングは、これまでわらやポリエチレンを利用していたが、最近では腐葉土やウッドチップ、パーク、ピートモスなど、環境に配慮(はいりよ)した自然素材のものが有効利用されるようになっている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (わらが自然素材でないと誤解する。)	3-(3)				
85	104	脚注	[豆知識]ウッドチップ パーク ピートモス	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
86	105	2表	[肥料の効果]即効性 [特徴]即効性	誤記である。	3-(2)				
87	105	2表	無機質(化成)肥料	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (化成肥料だけが無機質肥料と誤解する。)	3-(3)				
88	105	2表	[特徴]即効性のものや緩効性のものがある。 [長所]効果がすぐに表れる。	相互に矛盾している。	3-(1)				
89	105	参考	元肥口	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
90	105	参考	追肥(⇒p.127)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
91	106	4表	薬品(農薬)	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (薬品(農薬)の使用上の注意等の説明がない。)	固有 1-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 11 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
92	106	下段左	収穫ばさみ 写真□	相互に矛盾している。	3-(1)				
93	107	脚注	[豆知識]過剰（かじょう）な窒素は地下水汚染や海・湖の富栄養化，地球温暖化などの環境問題につながる	生徒にとって理解し難い表現である。 （なぜ過剰な窒素が地球温暖化につながるかが理解し難い。）	3-(3)				
94	108	14図	乳牛（バルジャンブルー種）	誤りである。 （乳牛）	3-(1)				
95	109	参考	[2～3行]粗飼料(牧草) や，濃厚飼料（穀類など）	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明が不十分で理解し難い。）	3-(3)				
96	110	11	水産資源を安定的に供給 [132ページ上段左]水産生物の安定的な供給	生徒にとって理解し難い表現である。 （水産資源と水産生物の違いが理解し難い。）	3-(3)				
97	110	参考	日本の国土の広さは世界第61位ですが，海（排他的経済水域）の広さは世界第6位となっており，	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
98	110	脚注	[豆知識]稚魚(ちぎょ) を採取し，それらを養殖場で人工的に管理し，育成する方法を養殖という。	不正確である。 （稚魚(ちぎょ) を採取し，)	3-(1)				
99	111	参考	[1行]種苗生産	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
100	111	参考	[好適水温]18℃以上～28℃くらい [特性]適水温は15～28℃	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明が異なり理解し難い。）	3-(3)				
101	111	参考	[下段左 工夫]法律で定められた漁網防汚剤のみを使用します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （法律で漁網防汚剤を使用することが決まっていると誤解する。）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
102	112	10	森林には天然の力で育つ天然林	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
103	113	2 - 3	日本では、国土面積のおよそ66%が森林で、その6割が天然林、4割が人工林です。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
104	113	6表	冷温帯 暖温帯 亜寒帯 亜高山帯□	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
105	113	22図	日本で林業がさかんな地域 (全体)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
106	113	参考	パルプ・チップ材として木質材料や紙の原料になります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (パルプ・チップ材と木質材料や紙の原料の関係が理解し難い。)	3-(3)				
107	114	下段左	環境に負荷をかけないような栽培する。	誤記である。 (栽培する)	3-(2)				
108	114	下段左	[制約条件の例] 育成する生物を大切に扱う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (制約条件の例として理解し難い。)	3-(3)				
109	115	上段左	6次産業化 [脚注]第6次産業化	表記が不統一である。	3-(4)				
110	115	上段左	6次産業化に取り組み、課題であった町の活性化に生物育成の技術を利用して成功しました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (6次産業化と生物育成の技術の利用の関係が理解し難い。)	3-(3)				
111	115	脚注	[豆知識]かけ算 (1×2×3=6) の第6次産業という考えになった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不十分で理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
112	117	上段右	④where	表記が不統一である。 (④以外の語頭が大文字)	3-(4)				
113	117	24図	[生育の規則性や特性または習性]第1花房	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
114	117	24図	[生育の規則性や特性または習性]第1花房 [121ページ 植えつけ (定植)]第一花房	表記が不統一である。	3-(4)				
115	117	24図	[必要な資材等]スリット鉢 [育成計画]定植, 誘引, 摘芽, 摘しん [摘芽]えき芽	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
116	118	資料	トウモロコシ, エダマメ, イチゴ, ナス, ピーマン, ツルレイシ, コマツナ, バジル, ダイコン, サツマイモの主産地 [121ページ上段右]トマト 主産地	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)				
			[125ページ上段左]リーフレタス 主産地 [127ページ上段右]ラディッシュ 主産地 [131ページ上段左]イネ 主産地						
117	118	資料	[トウモロコシ]主産地: 北海道, 千葉, 茨城	不正確である。 (トウモロコシの主産地でない。)	3-(1)				
118	118	資料	[エダマメ]用途: 食用, 燃料	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (エダマメが作物名であり燃料としても利用すると誤解する。)	3-(3)				
119	118	資料	[エダマメ]主産地: 北海道, 兵庫, 福岡	不正確である。 (エダマメの主産地でない。)	3-(1)				
120	118	資料	[イチゴ 図]黄色○ [サツマイモ 図]黄色○ [119ページ キク 図]黄色○ [119ページ ダリア 図]黄色○ [119ページ上段中]黄色○ まきどき	生徒が誤解するおそれのある図である。 (種まきからの栽培が一般的と誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
121	119	資料	[凡例]期収穫期・開花期	誤記である。	3-(2)				
122	119	資料	[ダリア]分球	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
123	119	資料	[ポトス 図]黄色横線	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例に照らして黄色○のない黄色横線の意味が理解し難い。)	3-(3)				
124	120	脚注	[豆知識]高さも1.2メートルほどにしかない。	不正確である。	3-(1)				
125	121	下段左	3. 苗をやさしく鉢土ごと①の穴に植える。	生徒にとって理解し難い表現である。 (①がどこか理解し難い。)	3-(3)				
126	121	下段中	本枝	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
127	121	下段右	えき芽とは、頂芽ではない成長点＝葉茎の根元から出る芽(主茎)のことである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「葉茎の根元から出る芽(主茎)」が理解し難い。)	3-(3)				
128	121	下段右	頂芽	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
129	121	脚注	[豆知識]DNA操作技術により受粉作業を必要としないトマトも実験段階では開発されている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (受粉が不必要なトマト品種が従来の育種法で開発されていないと誤解する。)	3-(3)				
130	123	脚注	[豆知識]地這(は)い	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 15 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
131	125	下段左	養液栽培容器に、パーミキュライトなどを用土として利用し、	生徒にとって理解し難い表現である。 （[124ページ脚注 豆知識]「養液栽培は、…土を用いないのが特徴である。」に照らして理解し難い。）	3-(3)				
132	125	下段左	必要な光を調整する必要がある	誤記である。 （必要ある）	3-(2)				
133	125	脚注	[豆知識]日本における植物工場の研究は1970年代に開始されたが、コスト面などに課題があり、実用化できなかった。近年、LEDの普及（ふきゅう）やエネルギー効率の向上により、コスト	生徒にとって理解し難い表現である。 （何が広がりを見せているかが理解し難い。）	3-(3)				
			面が徐々（じょじょ）に改善され、広がりを見せている。						
134	127	下段中	土寄せ	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
135	129	上段右	[生育適温]-5～20℃□	不正確である。 （-5～20℃）	3-(1)				
136	129	上段左	アマナ属（チューリップ属）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （アマナ属の別名がチューリップ属と誤解する。）	3-(3)				
137	129	下段中	[④開花]華やかに見せるために、一鉢に植える球根の数も考える。	生徒にとって理解し難い表現である。 （開花時に一鉢に植える球根の数を考えることが理解し難い。）	3-(3)				
138	130	下段右	④プレゼンテーションソフトにまとめる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （何をプレゼンテーションソフトにまとめるかが理解し難い。）	3-(3)				
139	131	上段左	心枯センチュウ病	不正確である。 （心枯センチュウ病）	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
140	131	脚注	[豆知識]農業には、食料などの生産現場としての機能以外に、国土や環境の保全の機能や人びとに美しい農村風景を与えてくれるなど、「お金で買えない」機能がある。これらは、農業の「外部経済効果」と呼ばれている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (外部経済効果は金額的に試算できないと誤解する。)	3-(3)	
141	132	中段左	[①準備]水底の容器	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
142	133	中段左	スギ科	誤りである。	3-(1)	
143	134	参考	綿花の栽培	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (綿花を作物名と誤解する。)	3-(3)	
144	134	下段中	特に栄養価の高い野菜であるトマト	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
145	136	参考	各国の食料自給率のデータ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
146	137	27図	[上段左]生物育成の技術は、今後、大きな発展が考えられるAIやビッグデータの活用といった情報の技術と組み合わせることで、情報の共有化や作業の効率化が図られている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (主語と述語の関係が理解し難い。)	3-(3)	
147	138	上段右	日本の森林資源 (⇒p. 112)	不正確である。 (112ページにない。)	3-(1)	
148	139	中段	遺伝子組換えとゲノム編集 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (突然変異と品種改良、遺伝子組換え、ゲノム編集との関係を誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
149	139	探究	[7~8行]日本では国土面積の3割にあたるおよそ1,200万haの森林が保安林に指定されています。	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)				
150	140	下段左囲み	外骨格ロボット	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真の説明のタイトルとして理解し難い。)	3-(3)				
151	141	左囲み	[学習の流れ] [1]-1 生活や社会とエネルギーの変換の技術 [表見返し③]	表記が不統一である。 (142ページのタイトルは「生活や社会とエネルギー変換の技術」)	3-(4)				
			[もくじ] [C エネルギー変換の技術] [1]-1 生活や社会とエネルギーの変換の技術						
			[192ページ] [技術のしくみ, 工夫] 1-1. 生活や社会とエネルギーの変換の技術						
152	141	上段右	◆1721 蒸気機関の開発 (ニューコメン)	不正確である。 (「1721」)	3-(1)				
153	141	上段右	◆1808 電灯の発明 (テーヴィ)	不正確である。 (「テーヴィ」)	3-(1)				
154	141	下段右	●2009 量産電気自動車の生産開始 [11ページ 下段右] ●2009 量産電気自動車の生産開始	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (2009年に日本で初めて量産電気自動車が生産されたように誤解する。)	3-(3)				
155	146	5図	[図の下の説明文] LPガス (石油ガス) [図の上側] LPガス	表記が不統一である。 (148ページ豆知識では「液化石油ガス」と表記。)	3-(4)				
			石油ガス留分						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 18 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
156	147	2 - 3	石炭や石油、天然ガスなどは地中から掘り出すため化石燃料とよばれます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (化石燃料とよばれる理由について、誤解する。)	3-(3)				
157	149	9図	[右下図] 蒸気機関車の図（全体）	生徒にとって理解し難い図である。 (水、水蒸気の流れについて、理解し難い。)	3-(3)				
158	149	11図	[下図] 燃料電池車の図 コントロールユニットの上側	生徒が誤解するおそれのある図である。 (機械駆動部分のように表現されており、コントロールユニットの働きについて、誤解する。)	3-(3)				
159	150	11 - 14	電気は遠く離れているところにも送電できますが、送電線で電流に応じて一部の電気が失われるため、遠くなるほど効率が悪くなります。そこで、発電所の近くで電圧を上げて、高い電圧で	生徒にとって理解し難い表現である。 (「電流に応じて一部の電気が失われる」ことへの工夫として「電圧を上げて、高い電圧で送電する」は、説明が不足しており、理解し難い。)	3-(3)				
			送電することで送電の効率を上げています。						
160	151	2 - 7	電気は蓄えることが難しいため、安定して供給するには使用する電力量に合わせて発電する必要があります。一日の中でも使用する電力量は変化するため、調整が難しい方法で一定量を発電	生徒にとって理解し難い表現である。 (電力と電力量について適切に区別されていないため、理解し難い。)	3-(3)				
			し、調整しやすい方法でそのとき必要な電力に合わせて発電しています(14図)。使用する電力量と発電量に大きな差があると、						
161	151	13図	[左側] 発電所 変電所	生徒が誤解するおそれのある図である。 (発電所と変電所の位置づけについて誤解する。)	3-(3)				
162	151	14図	[横軸] 横軸の長さ	生徒にとって理解し難い図である。 (タイトルの「一日の」に対して24(時間)を超えている。)	3-(3)				
163	151	14図	[タイトル] 発電量 [縦軸] 発電量	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発電量」は、理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 19 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			[151ページ 6行] 発電量						
164	152	実験	[手順②] ①で測定した消費電力／扇風機の消費電力 ×100 で、どのくらいの風が利用されたかを求めます。	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （「扇風機の消費電力」の値や、「どのくらいの風が利用されたか」の意味について、説明がない。）	2-(14)				
165	152	実験	図の電圧計、電流計	実験における作業の安全について適切な配慮がされていない。 （電圧計、電流計の交流・直流の種類、使用端子について記述がなく、測定器の焼損などの危険性がある。）	固有 1-(2)				
166	153	15図	[未利用エネルギーを利用する] [3～4行] 二重に発電する	生徒にとって理解し難い表現である。 （下図のコンパインドサイクル発電の説明として、「二重に発電する」は、理解し難い。）	3-(3)				
167	153	15図	[ガスコージェネレーションシステム] [図の上側] LNGタンク	生徒にとって理解し難い表現である。 （「LNG」の説明がなく、理解し難い。）	3-(3)				
168	154	16図	[直流] 時間的に流れる向きが変化しない。	生徒にとって理解し難い表現である。 （図は電圧が示されているため、「流れる向き」は、理解し難い。）	3-(3)				
169	154	参考	[タイトル] 商用電源 [1行] 商用電源	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
170	154	参考	[図の下の注記] *交流で電圧の正負が1秒間に变化する回数（単位はHz）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「正負が1秒間に变化する回数」は、周波数について、誤解する。）	3-(3)				
171	155	1表	[マンガン乾電池の特徴] 容量 [酸化銀電池の特徴] 容量	生徒にとって理解し難い表現である。 （それぞれの用語の違いについて、説明が不足しており、理解し難い。）	3-(3)				
			[空気亜鉛電池の特徴] 放電容量 [ニッケル水素電池の特徴]						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 20 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			放電容量 [リチウムイオン電池の特徴] 電池容量						
172	156	参考	[タイトル] 子どもの目の発達に配慮したLED照明	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明文では、「子どもの目の発達」との関係が述べられていない。)	3-(3)				
173	156	2表	[LED しくみ・特徴] 性質の異なる半導体の接合面で、プラスとマイナスの電気が結合するときのエネルギーを利用して発光する。	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)				
			[LED 構造] [吹き出し部分] プラスとマイナスの電気が結合することで発光する。						
			および PN接合の図						
174	156	2表	[LEDの構造の図の表記] P型半導体 N型半導体 [151ページ 12図 太陽光発電の図]	表記が不統一である。	3-(4)				
			p形半導体 n形半導体 [159ページ 参考 1行] p形半導体						
			n形半導体						
175	157	実験	光を作る ～エジソンに挑戦～ (全体)	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (電極のしくみ、実験回路図、使用器具などについて、説明がない。)	2-(14)				
176	157	20図	[誘導加熱] ○周囲が高温にならない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (なべ以外は高温にならないように誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 21 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
177	157	20図	[熱交換 (熱の移動)] 冷媒の気化と圧縮現象を利用して熱を外部へ移動し外部の熱と交換する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「熱交換 (熱の移動)」のしくみについて、理解し難い。)	3-(3)				
178	158	脚注	[豆知識] 2016年	不正確である。	3-(1)				
179	159	参考	[グラフの縦軸の表記] 電圧	誤りである。	3-(1)				
180	159	8 - 11	増幅回路は、トランジスタや抵抗などの部品を組み合わせることで設計できますが、電気機器では高性能化、小型化、省電力化などのために、集積回路 (IC: Integrated Circuit) が使われ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (電気機器では、トランジスタや抵抗などの部品が使用されていないかのように誤解する。)	3-(3)				
			ます。						
181	159	実験	クリップモータに挑戦 (全体)	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (必要なエナメル線の長さ、エナメル線の端部の加工方法などについて、説明がない。)	2-(14)				
182	160	6 - 7	電源 (エネルギーを供給する)、負荷 (エネルギーを熱や光、動力に変える)	表記が不統一である。 (「エネルギー」は、160ページの23図の「電気エネルギー」と、表記が不統一)	3-(4)				
183	160	3表	[トランジスタの図記号] PNP型 NPN型	表記が不統一である。 (159ページ参考の「pnp」、「npn」と、表記が不統一)	3-(4)				
184	160	3表	[ヒューズのはたらき] 熱や	生徒にとって理解し難い表現である。 (熱がどのような場合に回路をしゃ断するのか、説明が不足しており、理解し難い。)	3-(3)				
185	160	3表	フォトトランジスタの図記号 (全体) [181ページ 49図] フォトトランジスタの図記号	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
186	160	3表	[コンデンサのはたらき] 整流などのはたらきをする。	不正確である。 (「整流」)	3-(1)				
187	161	上段左 囲み	[参考] [電気回路の基礎知識] ●電力：電気が仕事をする量。	不正確である。	3-(1)				
188	162	25図	[囲みの中の表記] 認定検査機関名 [図の下の説明文] 認定検査機関名	不正確である。 (「認定検査機関」)	3-(1)				
189	162	26図	[タイトル] たこ足配線 [図の下の説明文] たこ足配線にする	生徒にとって理解し難い表現である。 (「たこ足配線」について、説明が不足しているため、理解し難い。)	3-(3)				
190	162	脚注	[豆知識] VAは電力を表す単位の一つで、実際に使われた電力と、使われなかった電力を合わせたものである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「使われた電力」、「使われなかった電力」の存在や性質について説明がないため、「使われなかった電力」は損失と誤解する。また、「合わせたものである。」は、単に両者の和で求められるようにもとれるため、電力について誤解する。)	3-(3)				
191	163	27図	[分電盤] [②ろう電しゃ断器] 動作したら、配線用しゃ断器を一つずつONにして、	生徒にとって理解し難い表現である。 (通常は、ろう電しゃ断器が動作しても、配線用しゃ断器は自動的にOFFにならないため、理解し難い。)	3-(3)				
192	164	参考	ヒーター部	表記が不統一である。 (144ページ3図の「発熱体」、157ページ20図の「発熱体」と、表記が不統一)	3-(4)				
193	165	3	回路計 (テスタ) [166ページ] アナログテスタ デジタルマルチメータ	生徒にとって理解し難い表現である。 (各用語の関係について、理解し難い。)	3-(3)				
194	165	30図	[①導通試験] [指示値が「∞」のとき] 説明書 [②絶縁試験]	表記が不統一である。 (164ページ8行の「取扱説明書」と、表記が不統一)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			[指針が振れたとき] 説明書 [豆知識] 説明書						
			[185ページ 豆知識] 説明書						
195	165	30図	[③交流電圧の測定] [手順の②] 100V指示値が100V程度を示していれば正常である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「100V指示値が100V程度を示していれば」、理解し難い。)	3-(3)				
196	165	参考	[カラーコードの読み方] [表の左欄] 許容差 [表下の記述]	表記が不統一である。	3-(4)				
			許容差 [右図下の記述] 誤差						
197	166	31図	[上段左図] 目盛版	誤記である。	3-(2)				
198	166	31図	[上側左 吹き出し] DC2.5Vのレンジのときは、この目盛りを利用する。 および	生徒にとって理解し難い表現である。 (「DC2.5Vのレンジ」は左図と異なっているため、また、吹き出しの指示位置は2つの目盛りの中間にあるため、理解し難い。)	3-(3)				
			吹き出しの指示位置						
199	166	31図	[上段中図] 目盛り (2か所) [交流電圧の測定] [手順の③]	表記が不統一である。	3-(4)				
			目盛 [電気抵抗の測定] [手順の④] 目盛						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 24 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
200	166	31図	[電気抵抗の測定] [手順の②] 指針がΩのレンジの右端の0を指すように調整する。	誤記である。 (「レンジ」)	3-(2)				
201	166	32図	[直流電流の測定] [手順の②] ダイオード	表記が不統一である。 (回路図の「LED」と、表記が不統一)	3-(4)				
202	166	32図	[直流電流の測定] [手順の②] カソード	生徒にとって理解し難い表現である。 (「カソード」について、説明が不足しており、理解し難い。)	3-(3)				
203	168	参考	[10～13行] また、歯車の歯数の比を表すときは、ギヤ比がよく使われ、速度伝達比の逆数になります*。 *考え方により、異なる場合がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ギヤ比の説明として、理解し難い。)	3-(3)				
204	169	5表	[その他の方法で動力を伝達] [ワイヤの特徴] 力を大きくするために、この原理が利用されている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ワイヤによる動力伝達の特徴ではない。)	3-(3)				
205	169	5表	[その他の方法で動力を伝達] [油 (圧力) の特徴] 押しつぶす方向に力を伝える。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「押しつぶす方向」は、理解し難い。)	3-(3)				
206	169	5表	[その他の方法で動力を伝達] [油 (圧力) の特徴] パスカルの原理によって、小さな力を大きくしている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「パスカルの原理」は、説明が不足しているため、理解し難い。)	3-(3)				
207	169	35図	[ウォームギヤ] 動力伝達の方向はウォームギヤからのみ。	不正確である。 (「ウォームギヤ」)	3-(1)				
208	171	37図	[往復スライダクランク機構] 例 自動車のエンジン (ピストン機構) (全体)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「自動車のエンジン (ピストン機構)」は、上文の「クランクが回転すると、スライダが案内 (固定) に沿って往復運動をする。」とは、逆に運動が変化するため、自動車のエンジンの機構について、誤	3-(3)				
				解する。)					

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
209	175	42図	[ばね] コイル外形 (D2) および	生徒にとって理解し難い表現である。 (「コイル外形 (D2)」は、理解し難い。)	3-(3)				
			図 (全体)						
210	175	42図	[ばね] 引張りコイルばね	表記が不統一である。 (172ページ40図の「引張コイルばね」と、表記が不統一)	3-(4)				
211	176	43図	プライヤ	表記が不統一である。 (153ページ右上の「コンビネーションプライヤ」と、表記が不統一)	3-(4)				
212	177	脚注	[豆知識] グリースは常温で粘度 (ねんど) が高い、マシン油は粘度が低いなどそれぞれ用途が違う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「粘度」は、「用途」ではないため、理解し難い。)	3-(3)				
213	180	中段囲み	[《電源》] [①電圧] 乾電池1本 (1.5V) にした。 [《負荷 (発光部)》]	不正確である。 (《電源》の②の文に「ニッケル水素電池にした。」という記述があり、ニッケル水素電池の公称電圧は1.5Vではない。)	3-(1)				
			[①電圧] 乾電池1本が電源のため、1.5Vで動作するものにする。 [46図]						
			[回路図の表記] 1.5V [181ページ 49図] [回路図の表記]						
			1.5V						
214	180	6表	[②白色LED (1.2V) の詳細] OSM5DK5111A-1V [③マイクロスイッチ (常閉型) の詳細]	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 26 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			D3M-01L1 [181ページ 7表] [②白色LED (1.2V) の詳細] OSM5DK5111A-1V						
			[③フォトトランジスタの詳細] NJL7502L [⑥マイクロスイッチ (常閉型) の詳						
			細] D3M-01L1						
215	180	6表	[⑤の詳細] ニッケル水素乾電池 [181ページ 7表] [⑧の詳細]	表記が不統一である。 (180ページの「設計・製作」の「ニッケル水素電池」などと、表記が不統一)	3-(4)				
			ニッケル水素乾電池						
216	181	脚注	[豆知識] 5図の	生徒にとって理解し難い表現である。 (「5図」は、理解し難い。)	3-(3)				
217	182	中段囲み	[《作業部分》] ①リンクを使った持ち上げ式	表記が不統一である。 (「リンク」は、《作業部分》の囲みの下の文の「リンク機構」と、表記が不統一)	3-(4)				
218	183	上段左囲み	[③製作] 部品の締めつけの強さ (強すぎると動きにくく、弱すぎると外れてしまう) 注意した。	脱字である。	3-(2)				
219	184	上段右囲み	[設計・製作] ①構想と設計要素の検討 (全体) [185ページ] 9表 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「土台」と「ベース」など、相互の関係について、理解し難い。)	3-(3)				
220	184	下段右	[図のタイトル] スライドスイッチを使う回路図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (スライドスイッチは、必ずしも切り替えスイッチではないため、スライドスイッチについて、誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 27 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
221	185	9表	[④の品名] モバイルバッテリー	実習における作業の安全について適切な配慮がされていない。 (モバイルバッテリーをLEDライトスタンドの電源とすることは本来の用途ではなく、またコネクタや配線の改造が必要となる場合もあり、使用する製品によっては発火などの危険がある。)	固有 1-(2)				
222	185	9表	[その他] 熱収縮チューブ座金	誤記である。	3-(2)				
223	185	9表	[その他] なべ小ねじ (M3×8)	誤記である。	3-(2)				
224	185	脚注	[豆知識] モバイルバッテリーには、リチウムイオン電池が使われている場合がある。説明書にかかれていないような使用方法をした場合、発火するおそれがあるた	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (注意すれば、説明書にかかれていないような使用方法をしてもよいように、誤解する。)	3-(3)				
			め取り扱いには注意する。						
225	186	57図	プッシュ	生徒にとって理解し難い表現である。 (「プッシュ」は、10表などに示されていないため、理解し難い。)	3-(3)				
226	186	10表	[②プーリセットの詳細] L	生徒にとって理解し難い表現である。 (「L」とは何を意味するのか、理解し難い。)	3-(3)				
227	186	10表	[⑤輪ゴムの個数] 1	不正確である。	3-(1)				
228	187		実習例 5 音声増幅器 (全体)	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 28 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
229	187	11表	[②スピーカの詳細] 20-A [③アンプICの詳細] NJM386BD	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
			[⑥スイッチの詳細] KCD1-AP-101012BBA [⑦マイクの詳細]						
			JL-032C						
230	187	11表	[その他] 電池ボックス (単3形1本用)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「1本用」は、理解し難い。)	3-(3)				
231	187	59図	スピーカの回路図 (全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (アンプICの働きや、回路全体の働きについて、説明が不足しており、理解し難い。)	3-(3)				
232	187	59図	[図の表記] ジャックボックス	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (当該図記号をジャックボックスの図記号のように誤解する。)	3-(3)				
233	187	60図	アンプIC、ジャックボックスの部分	生徒にとって理解し難い図である。 (アンプIC、ジャックボックスの接続が理解し難い。)	3-(3)				
234	187	脚注	[豆知識] この回路では信号のノイズを取り除くはたらきを利用している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (回路のどのコンデンサのことか理解し難い。)	3-(3)				
235	189	1 - 4	生活や社会においてエネルギー変換の技術は、・・・バランスを取って設計・製作されています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (主語と述語の関係が理解し難い。)	3-(3)				
236	193		[日本の発電の現状] [10~13行] この事故を受けて日本中の原子力発電所の総点検が行われました。また、発電量の低下のため、一時的に計画停電	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (原子力発電所の事故と総点検、発電量の低下、及び計画停電についての時間的経過や因果関係等について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			が行われたり，全国的な節電が呼びかけられたりしました。			
237	195	下段	[下段左] 小学校との関連 【総則，算数，理科】 プログラミング	生徒にとって理解し難い表現である。 (総則)	3-(3)	
238	197	1図	[イノベーション自動販売機] アプリと連動し，SNSを通じてサービスを提供できる。	不正確である。 (商品の購入に必ずしもSNSが必要なわけではない。)	3-(1)	
239	198	脚注	[豆知識] AI/Artificial Intelligence	脱字である。	3-(2)	
240	201	参考	ハードウェアのコンピュータは，	誤記である。	3-(2)	
241	201	7図	オペレーティングシステムとアプリケーションソフトウェア (全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (図中の四角，ロボット，OS，レジアプリ，組立アプリ，配膳アプリ)	3-(3)	
242	201	参考	ハードウェアのコンピュータは，複数のプログラムを同時に実行することができません。 [202ページ脚注]豆知識 マルチコア CPUは複数のプログラムを同時に実行	相互に矛盾している。	3-(1)	
			するときに力を発揮する。			
243	202	9図	プログラムは命令が並んだもの [2 13 5]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (命令はひとつしか書かれておらず，13及び5も単独の命令であるかのように誤解する。)	3-(3)	
244	203	11図 右	ハードディスクドライブ [203ページ5行]ハードディスク [203ページ脚注3] ハードディスク	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
245	204	参考	運動を変換するしくみ (⇒p. 168) [168ページ5行]力を伝達するしくみ	相互に矛盾している。	3-(1)	
246	204	参考	電気的なエネルギーを機械的な動きに変換するものを、アクチュエータといいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アクチュエータは電気的なエネルギーのみを変換するものであると誤解する。)	3-(3)	
247	204	12図 右下	アクチュエーター [204ページ13行]アクチュエータ [204ページ参考]アクチュエータ (2か所)	表記が不統一である。	3-(4)	
248	206	参考図	MARS	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
249	210	19図	members. push = (“青海”)	誤りである。 (pushは代入操作ではない。)	3-(1)	
250	211	下段課題	右アクティビティ図	誤りである。 (電源OFFのアクティビティが起動できない。)	3-(1)	
251	213	実験	音を一定間隔で取り込む (サンプリング周波数) とき,	不正確である。 (音を取り込むことは周波数ではない。)	3-(1)	
252	213	25図	ディスプレイ 技 ← 変換 → 文字コード 術	誤りである。 (ディスプレイでは文字コードから画像に変換しない。)	3-(1)	
253	214	27図	(2)の最終行 □□□■□□□ (3)の最終行 0 0 0 1 1 1 0 0	相互に矛盾している。	3-(1)	
254	215	9	frame per second	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
255	217	32図	[デジタル情報の特徴] [コンピュータで扱いやすい] データの計算, 保存, 通信をまとめて行うことができます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「計算, 保存, 通信をまとめ」ることが理解し難い。)	3-(3)				
256	223	中段参考	bit per second	脱字である。	3-(2)				
257	225	9	DSNサーバ	誤記である。	3-(2)				
258	225	中段課題	以下のIPアドレスを入力してみよう。 また, IPアドレスの最後の数字を変えるとどうなるか見てみよう。	実習における作業の安全について適切な配慮がされていない。 (IPアドレスを変更することにより, 学習上適切でないサイトにアクセスする可能性がある。)	固有 1-(2)				
259	227	2 - 5	HTML(HyperText Markup Language)というルールに従って記述されます。… CSS(Cascading Style Sheet)は, 文書の見た目を指定するためのルールで,	不正確である。 (「ルール」は一般用語であり, 言語の説明として不正確である。)	3-(1)				
260	229	7 - 8	個人を識別する番号であるID	不正確である。 (IDは番号のみで構成されているもののみではない。)	3-(1)				
261	229	48図	ドメインネットワーク プライベートネットワーク パブリックネットワーク(アクティブ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (各用語の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
262	231	53図	補助記憶装置 → パソコン ←	誤りである。 (パソコンがバックアップ先になっている。)	3-(1)				
263	237	中段課題	234ページ13図	誤りである。 (234ページに13図がない。)	3-(1)				
264	237	脚注	[豆知識] 薄(うす)入って	誤記である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

34 枚中 32 枚目

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
265	240	中段左	メディアを利用した情報表現 [220ページ1～2行]メディアを利用した情報の表現	表記が不統一である。	3-(4)				
266	241	67図	プログラムの例（全体）	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （チャットの起動方法が分からず実習にあたって適切な配慮がされていない。）	2-(14)				
267	245	74図	実行画面の例 避難所の表示 [245ページ6表右下図]UI	不正確である。 （設計と実行画面で表示するものが異なっている。）	3-(1)				
			危険場所，説明，写真						
268	247	下段右 囲み	円滑に行うのため	誤記である。	3-(2)				
269	252	上段右 囲み	回転，反回転 [252ページ中段右囲み]正転（2か所） ，逆転 [252ページ下段右図]前進（3か所）後退（3か所）	表記が不統一である。	3-(4)				
270	253	8表	赤外線センサ（2か所） [252ページ上段右囲み]光センサ [252ページ中段右囲み]光センサ [253ページ86図]光センサ	相互に矛盾している。	3-(1)				
271	253	8表	処理 ・段差の判定 [252ページ上段右囲み] 【入力】・光センサ：床の変化 【処理】・マイコンボード：障害物や	相互に矛盾している。	3-(1)				
			床の判定						
272	253	8表	アクティビティ図 ① ② [86図] ① ②	相互に矛盾している。 （アクティビティ図とプログラムの例の処理が対応していない。）	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
273	254	上段左	[設計・制作] ①全体の構想：ドアに磁石をつけて、 加速度センサと磁気センサで、ドアが 開いたことを検知する。 [88図]金庫のある部屋	生徒にとって理解し難い表現及び図である。 (「磁気センサ」と「磁力センサ」が同じものであ るかどうかが、また、「加速度センサ」の取り付け位 置がどこであるか理解し難い。)	3-(3)				
			磁力センサをつけたマイコンボード (送 信側) ネオジム磁石などをはりつける。						
274	256	中段左	[コマツナについて] 旬は12から2月くらい リンクp.118「栽培ごよみ」	相互の関連が適切でない。 (旬と栽培ごよみの収穫期の関係)	2-(12)				
275	257	93図	サーボモータと水栓を糸でつなぐ。 [257ページ94図]サーボモータとチェ ーンでつなぐ。	相互に矛盾している。	3-(1)				
276	258	8表	ミニ植物工場の制作工程表 [258ページ上段囲み]○設計したことを 制作工程表にまとめた (8表) [253ページ8表]障害物や立入禁止エリ アを見分ける金属回収ロボットの制作	生徒にとって理解し難い表である。 (同じ表であることが理解し難い。)	3-(3)				
			工程表						
277	258	8表	[入力] 光センサ 温度センサ タイマー [257ページ上段左囲み]	相互に矛盾している。	3-(1)				
			[入力] 光センサ 温度センサ 水センサ						
278	258	8表	[アクティビティ図]DCファン [出力]DCモータ [システム構成と部品の取り付け位 置]DCモータ [257ページ上段右囲み]DCモータ	表記が不統一である。	3-(4)				
279	259	中段右	[収穫]冬まきは80～100日くらいが目 安	生徒にとって理解し難い表現である。 (「80～100日」)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-101		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
280	261	中段	社会な制約	脱字である。	3-(2)				
281	261	中段	[自然的な制約] ●計算 ⇒p. 213 [社会な制約] ●情報の倫理 ⇒p. 232	不正確である。 (213ページには典型的な計算例が示されておらず、232ページには「倫理」という語句が出てこない。)	3-(1)				
282	263	2 - 3	情報, 境に関する情報	脱字である。	3-(2)				
283	268	2図	[安全や環境を維持するために管理する] [見出し] 冷凍・冷蔵機器のフロン類を管理する	表記が不統一である。 (「冷凍・冷蔵機器」と「冷凍冷蔵機器」は、表記が不統一)	3-(4)				
			[1行] 多くの業務用冷凍冷蔵機器には [4~5行] 業務用冷凍冷蔵機器の異音						
284	268	2図	[豊かな生活のために選択] インターネット上でデータを管理	不正確である。 (インターネットはデータの経路でありデータを保持しない。)	3-(1)				
285	284	下段右	[②図]旗がクリックされたとき [2行]ネコをクリックすると, [下段左図]スプライト1がクリックされたとき	相互に矛盾している。	3-(1)				
286	295	上段左	③フィッシングメール (⇒p. 229) [裏見返4上段右囲み]フィルタリング (⇒p. 228)	不正確である。 (当該ページにない。)	3-(1)				
287	裏見返 4	中段左	Recieved (2か所) Return-path	不正確である。 (RFCの記述と異なる。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 1 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 6	上段左	植林した木は、間引いて (間伐して) 適当な間隔にしないと、材木として役立つ樹木に育ちません。そのため、木材をため込まずに、適度に使用する必要があります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「木材をため込まずに」とは、具体的にどういふことか理解し難い。)	3-(3)
2	13	資料2	成型 (2箇所)	不正確である。 (「型」)	3-(1)
3	31	下段右	ねじの呼び径 (2箇所)	不正確である。	3-(1)
4	44	中段左	★1 JIS (日本産業規格) 工業製品を標準化して、品質の改善を図るための規格。	不正確である。 (「工業製品を」)	3-(1)
5	50	部品図	[③背板] + (全7箇所のうち下3箇所)	生徒にとって理解し難い図である。 (「+」の位置)	3-(3)
6	50	部品図	[④前板 (PET樹脂板)] 4×1.5キリ [55ページ上段 ⑭下穴あけ] 木材を組み合わせた材料にPET樹脂板を合わせる。ねじを取りつける位置に	生徒にとって理解し難い表現、写真である。 (PET樹脂板への穴あけについて、その位置を決める手順及び穴の寸法について理解し難い。)	3-(3)
			印をつける。 [54ページ中段 ⑰接合] 写真 (全体) 卓上ボール盤に、φ3のドリルを取りつけて、穴をあける。		
7	52	下段	[⑱ねじ接合] 接着剤を側板と背板の接合する部分に…塗る。ねじ回しを使って…ねじ込む。部品がずれないように注意する。 [53ページ ⑳点検]	生徒にとって理解し難い表現である。 (⑱、⑳の過程で何と何とを接合するのか理解し難い。)	3-(3)
			側板と底板とが…接合されているか、…確かめる。		
8	54	中段	[⑳下穴あけ] ねじ込むねじが太いため、ねじ込む位置に四ツ目きりで下穴をあける。 [下巻8ページ下段] ・四ツ目きり	相互に矛盾している。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 2 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
			くぎの下穴をあける。 ・三ツ目きり 木ねじの下穴をあける。		
9	56	構想図	[側面 図右側 上] 「20」の寸法線 (上側)	不正確である。 (45ページ資料3「・寸法線の両端に矢印をかくが、…」に照らして不正確である。)	3-(1)
10	56	構想図	[側面] 「2」の寸法線	不正確である。 (45ページ資料3「・寸法線は、その寸法が表す部分に平行にかく。」に照らして不正確である。)	3-(1)
11	56	部品図	[①側板A] 7×1.5キリ 及び 下中央の+	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (構想図等をみても当該位置への穴あけについて理解し難い。)	3-(3)
12	58	中段左	[⑥下穴あけ] くぎ穴の位置に印をつける。 [59ページ中段 ⑦下穴あけ] きりを使う場合は、くぎの下穴は四ツ目きりで、木ねじの下穴は三ツ目きり	生徒にとって理解し難い表現・写真である。 (57ページ部品表における記載状況 (くぎの記載がないこと、及び、木ねじ類の長さ・本数) からは、くぎが使用されていないように判断できるが、一方、少なくとも指摘事項にあげた写真及び文章からは	3-(3)
			であける。 [59ページ下段 ⑩接合] 強く打ち過ぎるとくぎが傾くので、力に注意しながら材料の上から打ち下ろす。	、くぎが使用されているようにも判断できるため、理解し難い。)	
			写真 (全体) [59ページ下段 ポイント] 下穴に対して、あらかじめくぎ先が少し出るまでくぎを打ち込んでおけば、 [60ページ上段 ⑫接合]		
			げんのでくぎを打ち込んだあとに、 写真 (全体) [60ページ上段 右図] くぎが出ていないか [57ページ上段 部品表下 そのほかの		
			材料] ・十字穴つき皿木ねじ 呼び径2.1mm ，長さ25mm…24本 呼び径2.1mm ，長さ20mm… 4本		
			・十字穴つき丸木ねじ 呼び径3.1mm ，長さ10mm… 6本 [56ページ右上段] 写真 (全体)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 3 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
13	59	下段	[ポイント] まず、箱の形をつくり、その後に棚板や仕切り板を加える。順序をまちがえると、取りつけができない場合がある。	生徒にとって理解し難い表現，図である。 (図では箱の形をつくる前に仕切り板が加えられており理解し難い。)	3-(3)				
14	68	上段左	[構想図] 120	誤りである。	3-(1)				
15	72	側注1	飛行機や自動車の車体，リチウム電池のマイナスの電極など，幅広く利用されている。	不正確である。 (「リチウム電池のマイナスの電極」)	3-(1)				
16	75	10	知的財産の尊重 [113ページ下段 繰り返る] 知的財産の尊重 [117ページ12行] 知的財産の尊重	表記が不統一である。	3-(4)				
			[200ページ資料4・200ページ5行] 知的財産を尊重した など [70ページ14行] 知的財産権を尊重する						
			[71ページ下段 繰り返る] 知的財産権の尊重 など						
17	75	資料5	[日本の森林蓄積の推移] 2,863 3,483 5,241	不正確である。 (「林野庁の統計情報(2018年10月)」と比較して)	3-(1)				
18	75	資料5	[各国の森林資源に対する年間伐採量] 林野庁「森林・林業白書」(2006年度版)	不正確である。 (出典とされる図書等の名称として)	3-(1)				
19	77	下段左	技術の大切がわかりましたか？ [119ページ下段左・269ページ下段左] 技術の大切がわかりましたか？	脱字である。	3-(2)				
20	78	下段左	畑を有効利用する営農型太陽光発電 作物の栽培をしながら，畑の一部で太陽光発電を行い，その電力を栽培に活用する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (営農型太陽光発電は畑の面積の一部で発電を行い，その電力を栽培に活用すると誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 4 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	83	中段左	[資料2]生育が悪い苗を取り去り（間引き）、育つ場所と日当たりとを確保して、残した苗の生育をよくする。	生徒が誤解するおそれのある表現である。（生育が悪い苗を取り去ることを間引きと誤解する。）	3-(3)				
22	87	下段左	培養液	生徒にとって理解し難い表現である。（説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
23	91	上段中	[技ビト]神奈川県では1970年代中頃からマダイとアワビの稚魚や稚貝を毎年数十万尾放流しています。	学習上必要な出典が示されていない。（1970年代中頃からアワビの稚貝を毎年数十万尾放流しています。）	2-(10)				
24	106	下段	[資料1]人工授精から出産までの期間と人工授精を行う間隔	不正確である。（乳牛の妊娠期間と人工授精を行う間隔）	3-(1)				
25	124	下段右	[資料2] ●水洗トイレ ①→②→③→④の順に力が変換され、排水をして水がタンクに入る。 および	生徒が誤解するおそれのある表現である。（レバーの操作によって与えたエネルギーが、水がタンクに入るエネルギーに変換されているように誤解する。）	3-(3)				
			図						
26	125	中段右	[資料3] 自動水洗	生徒にとって理解し難い表現である。（機器の名称として理解し難い。）	3-(3)				
27	127	上段右	[資料3] 発光ダイオード（LED） 発展	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
28	129	上段中	[資料5] [電磁調理器] [説明文] 磁力発生コイル	表記が不統一である。	3-(4)				
			[図] IHコイル						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 5 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
29	129	上段中	[資料5] [電磁調理器] [図] うず電流	不正確である。 (図は不正確である。)	3-(1)				
30	141	上段中	[⑤] 穴の直径はφ5.5	不正確である。 (「φ5.5」は不正確である。)	3-(1)				
31	141	中段左	[ポイント] カムと座受けとが接触する位置によって、上の物体の動作が変化する。 および 表 (全体)	生徒にとって理解し難い表である。 (カムの回転方向が示されていないため、理解し難い。)	3-(3)				
32	143	上段右	[資料3] 速度伝達比 = 駆動軸側の回転速度 / 従動軸側の回転速度 = 従動軸側の直径 (歯数) / 駆動軸側	生徒にとって理解し難い表現である。 (「駆動軸側の回転速度」と「従動軸側の回転速度」の「側」は理解し難い。また、「従動軸側の直径 (歯数)」と「駆動軸側の直径 (歯数)」は何の直径 (歯数) か理解し難い。)	3-(3)				
			の直径 (歯数)						
33	143	中段右	[資料3] [プーリの図] 2.0 0.5	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を表している数字か理解し難い。)	3-(3)				
34	148	下段左	[トラッキング現象を防ぐ] [図] 湿気を帯びたほこり	不正確である。 (指示位置は不正確である。)	3-(1)				
35	149	中段中	[資料5] [配線用遮断器] 一定以上の電流	不正確である。	3-(1)				
36	149	下段右	[安全の囲み] アース極を接地することで漏電を起こした電気の逃げ道をつくっている。 および 図	生徒にとって理解し難い表現である。 (「アース極を接地する」、「漏電を起こした電気の逃げ道」など、どのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
37	149	下段右	[安全の囲み] 電気機器では、アース線をアース端子に接続することで漏電を予防している。	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 6 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
38	151	2 - 3	数万から～数十万Vの	誤記である。 (「から～」)	3-(2)				
39	151	下囲み	[スゴ技] [右段4行] 連携を進めています。	誤りである。 (「連携」)	3-(1)				
40	152	下段中	[資料7] [太陽光発電] [図] 電極 (-)	生徒にとって理解し難い図である。 (指示位置は理解し難い。)	3-(3)				
41	152	下段中	[資料7] [太陽光発電] [課題] 廃棄するときの処理方法は自治体により撤去方法が違う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「処理方法」と「撤去方法」の関係など、どのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
42	159	中段左	[エネルギーを伝達する部分] □部品が熱を持っていない	生徒にとって理解し難い表現である。 (構想を具体化する段階では関係しないため、理解し難い。)	3-(3)				
43	164	中段中	[ポイント] [スイッチの回路図] 左側の図 (全体)	不正確である。	3-(1)				
44	165	中段中	[点検のポイント] スイッチのはんだづけや断線のチェックする。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文が理解し難い。)	3-(3)				
45	172	下段中	[写真] 電圧スピーカ	誤りである。 (「電圧」)	3-(1)				
46	173	中段左	[アレンジ2] 磁石でON+振動モータ 写真	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真では光センサが用いられており、「磁石でON」は理解し難い。)	3-(3)				
47	173	中段右	[アレンジ3] 写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (LEDがどこにあるのか理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 7 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
48	174	上段右	[抵抗器のカラーコードの読み方例] 抵抗器の図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (第2数字を表す色)	3-(3)				
49	174	上段右	[抵抗 (電気抵抗)] [抵抗器の図] 抵抗値許容量 [囲み]	生徒にとって理解し難い表現である。 (「許容量」, 「教容量」は理解し難い。)	3-(3)				
			抵抗値許容量 [表の見出し] 抵抗値教容量						
50	179	囲み	[センパイに聞いてみよう] [文 左段 17-18行] 大切さ	誤記である。	3-(2)				
51	183	下段右	[資料7] 空気中の熱を取り込んで、それを電気エネルギーで圧縮して、高温にしてから室内に放熱する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ヒートポンプの技術の説明として理解し難い。)	3-(3)				
52	186	上段左	[準天頂衛星] GNSS	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
53	191	下段右	[もっと知ろう] 整数値の2→3→4→6→…を4桁の2進数で表して、0010→0011→0100→0110→…と、デジタル化されるね。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「整数値の…を…と、デジタル化」)	3-(3)				
54	200	資料5	著作権や肖像権 … 知的財産	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (肖像権が知的財産権であると誤解する。)	3-(3)				
55	206	資料1	[③コンピュータを使った作業] また、また、プログラムの制作では、	誤記である。	3-(2)				
56	233	下段左	[つくってみよう] 新しいスプラクト (キャラクタ) が選べる	誤記である。 (スプラクト)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 8 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
57	239	3 - 6 右	クライアントは、はじめに…をつくり ます。次に、…プログラムと、…プロ グラムをクライアント側につくりま す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「クライアントは…プログラムを…つくりま す」)	3-(3)				
58	249	資料6	発光ダイオード	不正確である。 (参照している部品)	3-(1)				
59	261	下段中	●文字入力型プログラミング言語で	生徒にとって理解し難い表現である。 (「文字入力型」)	3-(3)				
60	261	下段右	[実行と検証] デバッグ画面 … → デバッグ → …	表記が不統一である。	3-(4)				
61	266	資料3	レベル4 部分自動運転 … レベル2 一部自動運転	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (引用元資料には「レベル2 部分運転自動化」と あり、混乱する。)	3-(3)				
62	280	上段右	[回路図] USB端子	不正確である。 (USB端子は短絡しており、回路図は不正確である。)	3-(1)				
63	下巻 3	右囲み 上	[下穴のけがき(穴あけ位置のけがき)] 木材] 穴をあけたとき板が割れないように、 端から板厚の2倍程度の長さをとる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (上巻45・48・50・56・64ページなどの図面や多く の写真において「端から板厚の2倍程度の長さ」が確 保されておらず、理解し難い。)	3-(3)				
64	4	中段右	引きみぞができるので、 ひきみぞの幅	表記が不統一である。	3-(4)				
65	5	左下囲 み	切削(けっさく)油	誤記である。	3-(2)				
66	9	上段	[ドリルを回転させる力の調整] (全体)	生徒にとって理解し難い図、表現である。	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 9 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
67	11	上段左	ねじ穴のけがき方 接合する板の面に対して、中心軸にくる位置にねじをねじ込む。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ねじ穴のけがき方」として理解し難い。)	3-(3)				
68	11	中段囲み	酢酸ビニル樹脂系エマルジョン接着剤 [40ページ中段13-14行] 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤	表記が不統一である。	3-(4)				
69	15	下段中	[コマツナ]生育適温(気温) 15~30℃	不正確である。 (15~30℃)	3-(1)				
70	15	下段右	[ベビーリーフ]原産地 ノザワナ・キョウナ・サントウサイは中国	不正確である。 (ノザワナ・キョウナ・サントウサイは中国)	3-(1)				
71	16	中段右	[パンジー]花がら摘み	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
72	18	中段中	原液に決められた量の水に加えて、培養液をつくる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「原液に決められた量の水に加えて」が理解し難い。)	3-(3)				
73	18	中段右	赤土(火山灰土)からできた土を乾燥させ、粒状にしたもの。	不正確である。 (赤玉土の説明が不正確である。)	3-(1)				
74	19	上段右	腐葉土 広葉樹の落ち葉などからつくる。	不正確である。 (腐葉土の説明が不正確である。)	3-(1)				
75	19	下段右	土は、雨に当たると酸性になりやすい。中性近くに戻すのに、苦土石灰を施す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (苦土石灰の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
76	21	上段左	[ハダニ]写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (ハダニであると理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 10 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
77	23	上段左	おいひ 追肥	誤りである。 (おいひ)	3-(1)				
78	23	上段左	追肥 長期に栽培を行う作物では、肥料が切れるので、補うために追肥を行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (追肥の説明が不十分で理解し難い。)	3-(3)				
79	23	中段左	土寄せ・増し土 根元に土を加えて寄せる方法を増し土といい、	不正確である。 (土寄せと増し土の説明が不正確である。)	3-(1)				
80	26	上段左 写真	[デジタル式回路計] CD800G	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
81	26	下段左 表	[概要] 直流電圧 (DC) を測定する。 交流電圧 (AC) を測定する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「直流電圧 (DC)」, 「交流電圧 (AC)」)	3-(3)				
82	27	図	[直流電圧の測定] テスト棒の先を電池の+側と-側に当てる。 [抵抗値の測定]	生徒が誤解するおそれのある図である。 (回路計の操作に先立ってテスト棒を測定対象に当てるように誤解する。)	3-(3)				
			テスト棒の先を抵抗器の足に当てる。 [導通の検査] テスト棒の先を測定したいところに当てる。						
83	27	下段右	[導通の検査] [アナログ式回路計] [テスト棒の接触] 赤いテスト棒と黒いテスト棒の先端を接触させる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (アナログ式回路計の導通の検査について理解し難い。)	3-(3)				
			[反応の確認] 指針が振り切れれば導通が「あり」。						
84	32	下段左	[・プログラムの例] 1 絵とはイメージ。 2 絵1の… 3 絵1の…	脱字である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 11 枚目

受理番号 31-116		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
85	39	下段右	ID(ユーザID) [40ページ左段3行] ID, ユーザID	表記が不統一である。	3-(4)				
86	40	中段1 2-15行	スプレー 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着 剤 センサ	生徒にとって理解し難い表現である。 (「さくいん」における「酢酸ビニル樹脂系エマル ジョン形接着剤」の位置について理解し難い。)	3-(3)				
87	40	中段1 9行	耐水ペーパー [12ページ左上表] 耐水ペーパー [上巻32ページ中段左・上巻52ページ 下段⑨⑩]	表記が不統一である。	3-(4)				
			耐水ペーパー						
88	40	右段1 4行	はんだこて [24ページ 上段左・中段左・下段右 など] はんだこて	表記が不統一である。	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。